



交流の場を生み、つなぐ



TOPIC 1

DESIGN WEEK KYOTO

京都を創造的な街にしたいと考えた有志が集まり2016年にスタートしたオープンファクトリーイベント。京都信用金庫は初年度よりプラチナパートナーとして活動をサポートしています。第5回目となる2020年は「さらに幅広いモノづくりの方との交流を」という想いから、開催エリアを京都市内に加え宇治市や亀岡市へ拡大し、参加業種も増加しました。

TOPIC 2

FOOD COLLABO LABO

京都信用金庫と京都北都信用金庫が共催する京都府北部地域を含む府内の生産者と、飲食店等の事業者との交流の場。両者のマッチングを創出することを目的に開催し、今年の出展生産社数は62社、参加事業者は230社以上となりました。多くの商談や出会いが生まれ、新たなパートナー・アイデアを見つけることができる場所となっています。



TOPIC 1

京都各所の工房を公開して出会いを促進するファクトリーツアーや、国内外のクリエイターとの交流会など様々なイベントが実施され、異なる業種の人々が集まり、新たなドラマが生まれました。



Interview ドローン仏さま制作者
土御門仏所 仏師・三浦耀山様

「DESIGN WEEK KYOTO

をご存知ですか?」という

京信さんの一言が、

私の夢を後押ししてくれました。



写真提供:一般社団法人Design Week Kyoto実行委員会、撮影:藤井智大

このイベントで、3Dプリントを取り扱う株式会社キャスト 京都LiQさんと出会い、空飛ぶ仏像「ドローン仏さま」を作り上げることに成功しました。昔から仏師は※阿弥陀来迎図の絵のように仏像を浮遊させたいと試行錯誤してきましたが、具現化する



※阿弥陀三尊が菩薩と共に雲に乗り、死者を迎えに来て極楽に引き取る絵

ことは難しく、その大きな理由は“重さ”でした。そんな中、私の制作した木像を3Dスキャンし、軽量樹脂を用いて3Dプリントすることで、13gの超軽量な仏像を乗せた「ドローン仏さま」が実現したのです。その後SNSから始まり、テレビや新聞などのメディアにも盛んに取り上げられ、大変好評をいただきました。これは間違いなくDESIGN WEEK KYOTOでの出会いがあったからです。出会いとイノベーションの場に導いてくれた京信さんには心から感謝しています。そして「新しいことにチャレンジする人を支援したい」という京信さんの想いを肌で感じたと共に、これからも私のような個人事業主をバックアップして、勇気づけてほしいと思います。

「DESIGN WEEK KYOTO 2020-OPEN YOUR SIGHTS」
(主催:一般社団法人Design Week Kyoto実行委員会)

Voice プロジェクトメンバーの感想

実行委員会のスタッフとして参加することで、普段とは違った角度からものづくり現場を見ることができ、目に見えない部分の価値に気付くことができました。今後もこのイベントのサポートを通じて、異業種間の交流を広め、深めるお手伝いをしていきます。





FOOD COLLABO LABO 2020 IN KYOTO

TOPIC 2

生産者こだわりの素材や商品を展示し、また素材を使用した試食品を食べながら、五感を活用した商談となりました。フリー商談というフラットな雰囲気の中で、生産者と事業者だけでなく、生産者同士の情報交換も活発に行われていました。



美味しいは楽しい!



新しいお米のかたち!



Interview

かたもとオーガニックファーム様

無肥料栽培にこだわった野菜を作っています。この野菜たちは素材の味がしっかりと生きていて、体にもたやす効果強いと思っていますが、実際手にとって試食してもらうことで、理解してもらえる良い機会となりました。普段は畑に籠もる時間が長いので、こうした**事業者の方と商談や交流ができる機会**は非常に貴重なんです。金融機関がこのようなイベントを催すことに大変驚き、ここまでしてくれるんだと感心しました。京信さんは、食を通じ地域の活性化を共に目指す**仲間のような存在**です。

Interview

iicome合同会社様

米粉を使ったクッキーや麺など多種類の商品を生産しています。会場は賑わっていて、米粉に興味を持たれている方にもたくさん出会いました。まずは米粉とは?という基本から、使い方や商品の魅力を**伝え対話を楽しむことができ**、生産者・事業者にとって、とてもためになるイベントです。京信さんと関わる中で、地域の支えになりたいという想いを強く感じ、金融機関と生産者で立場は違いますが、**田舎の産業が潤う基盤を一緒に作っているんだな**と感じます。お金のことだけじゃないもつと**根っこの部分から、地域のことを考えてくれるんだな**と感じました。



Voice プロジェクトメンバーの感想

開催前に数社の生産者とお会いし、当イベントをビジネスチャンスと考える**“本気さ”**を感じました。今後も当金庫がモットーとする**「おせっかい」**を率先して行き、職員一丸となって地域活性化に努めます。



地域に根付いた活動の紹介

京都信用金庫では地域貢献活動を積極的に行っています。

活動

その1

京都マラソン



2012年の第1回大会から、約100名もの役職員が当金庫の御室支店前で給水ボランティアを行っています。毎年参加している職員が多数おり、ランナーとしても毎年30名程度が参加しています。駆け抜ける選手たちに声援を送っていると近隣の方々から「ご苦労様です!」「家族が走るんです!」といったお声があり、そんなふれあいに地域の皆様との絆を感じます。

活動

その2

天野川清掃



七夕伝説がある大阪府枚方市の「天野川」。かつてはホタルが舞い、シジミやアユなども生息していましたが、都市化が進みその姿は消えてしまいました。川底のゴミを引き上げ、活性液やEM団子を投入し清流に戻すことで、それらが再び生息できるようになることを目指しています。

活動

その3

絆の森 森林保全活動



上仰木辻ヶ下生産森林組合様との「琵琶湖森林保全パートナー協定」に基づき、大津市上仰木町にて、間伐等の保全活動を行い、また、ヤマザクラを植樹しています。当金庫創立100周年を迎える3年後の春には、辺り一面が桜で満開になることを願っています。



Cスクエアバックナンバーはこちらからお読みいただけます！
[Click!](#)